

市史へんさん

第 162 号

平成 24 年 9 月 1 日
小松市史編纂事務局
へんさんだより

残暑とは名ばかりの暑い日が続きますが、皆さんお元気にお過ごしでしょうか。寒い頃には待ち焦がれていた暑さも、心底、「早く涼しくなって欲しいなあ。」と思ってしまいます。

暦の上ではもう秋。暑さは健在ですが、日の入りが早まり、赤とんぼも飛ぶようになりました。季節は確実に移ろい、小さな秋を感じさせてくれます。皆さんはどんな秋を見つけたでしょうか❀

8 月 5 日開催

かんしょう

第 53 回市史講座『歓生とその周辺』満員御礼 !!



講師：綿拔 豊昭氏

8 月 5 日、猛暑にも関わらず、たくさんの方にご参加いただき、途中、用意していた机や椅子が足りなくなってしまうほどの盛況ぶり!! 最終的に、参加人数は 73 名を数え、満員御礼の会場に。とても嬉しい結果となりました。ご参加くださいました皆さん、本当にありがとうございました!

綿抜氏の講演は、まず歓生の氏名や生歿年についての考察から始まり、芭蕉との出会い、交流、『聯玉集』の成立などについて話されました。

綿抜氏によると、「歓生」という号は、“歓”の字が物語るように本人が楽しいこと好きだったことから自分で名付けられたようで、歓生の人柄が窺えますね。また、小松に居住していた歓生ですが、利常とともに行動も一緒にされたようで、逝去後は金沢に移ったようです。

皆さんの興味が特に深かった芭蕉に関するお話ですが、当時、芭蕉の知名度はそれほど高くはなく、隣の越中国にいたっては、蕉風以前の俳諧が主流で、芭蕉の来遊には、“知る地元の俳人は、誰もいなかった”と言われたほどです。

連歌の巨匠能順に会った折には能順の句を詠み間違えてしまいそれ故、翌日の句会では、申し訳なくて一句も読めなかったそうです。芭蕉の立場も今のイメージとは全く違うようですね。

今回の主役、歓生については、芭蕉の来訪以来、俳諧をせず、連歌に専念するようになったとのこと。

芭蕉が小松に来た、元禄 2 年は、歓生が 40 歳くらい(初老)のときで、年齢的にも落ち着くころ。それまで力を注いでいた談林派の俳諧は、派手で自己主張が激しいため年相応ではない、正統派の連歌を極めようと考えたのではないかと綿抜氏は述べておりました。

専門的ながらも分かりやすく、当時の俳諧、連歌の世界を垣間見る事ができた今回の市史講座。小松で活躍した俳人、歓生がより身近な存在になった気がします。



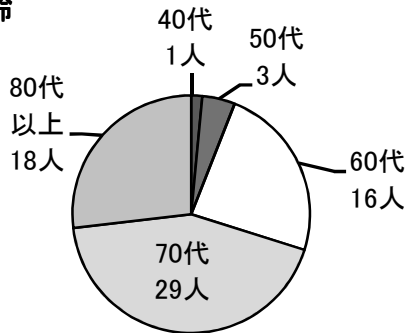
満員御礼!! の会場

☞裏面はアンケート結果です。

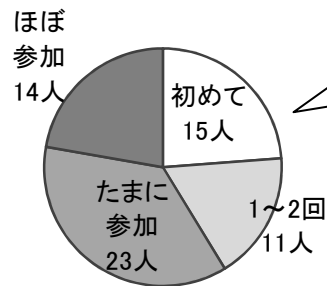
市史講座アンケート結果

(講座参加人数 73 名, アンケート回答者数 67 名)

○年齢

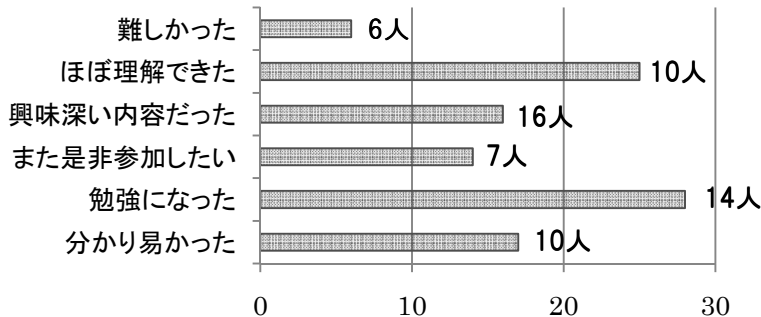


○市史講座への参加 (無回答 1 名)



初めてご参加の方も多かったです！

○今回の講座について (複数回答あり)



○ご感想 (一部抜粋)

小松の俳人についてがぜん興味がわきました/身近な人の話でとても良かった/非常に分かりやすく楽しく拝聴させていただきました/能順と歓生と芭蕉の関係がよくわかり、とても勉強になりました/(芭蕉と)能順、歓生が会ったことについて、一歩踏み込んでいただきよくわかりました

<8月の活動報告>

- ・ 8月5日 近世村方部会(第1回)
- ・ 8月8日~9日 民俗調査(農業関係)
- ・ 8月10日 編集委員会(民俗篇)
- ・ 8月21日 撮影打合せ(出版局)
- ・ 8月22日 美術工芸部会(第1回)
- ・ 8月26日 西瓜祭り(お水取神事)撮影
- ・ 8月27日 西瓜祭り(神事・相撲・盤持ち石)撮影

<9月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2	3	4	5	6	7:調査(~14日)	8:民俗部会
9	10	11	12:美術工芸部会	13	14	15:村方部会
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	※24日~30日は図書館の特別整理期間でお休みです。					

は小松市史編纂事務局(図書館2階)は閉室しています。

市史編纂担当 (小松市教育委員会教育庶務課)

- ・ 住所 〒923-8650 小松市小馬出町 91 番地
- ・ TEL 0761(24)8274 ・ FAX 0761(23)3563
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館2階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19
- ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763